

No. 19

場 所	東中野三丁目(鉄道用地内)	樹 木 医		診 断 日	2025 年 11 月 7 日
樹 木 番 号	5	樹高(H)=3.0m	幹周(C)=227 cm	枝張(W)=3.0m	
樹種名	サクラ	植 栽 形 態	☐ 単独樹 ☐ 植栽帯 ☐ 緑地内 ☒ その他		支 柱 ☐ 良好 ☒ なし ☐ 破損

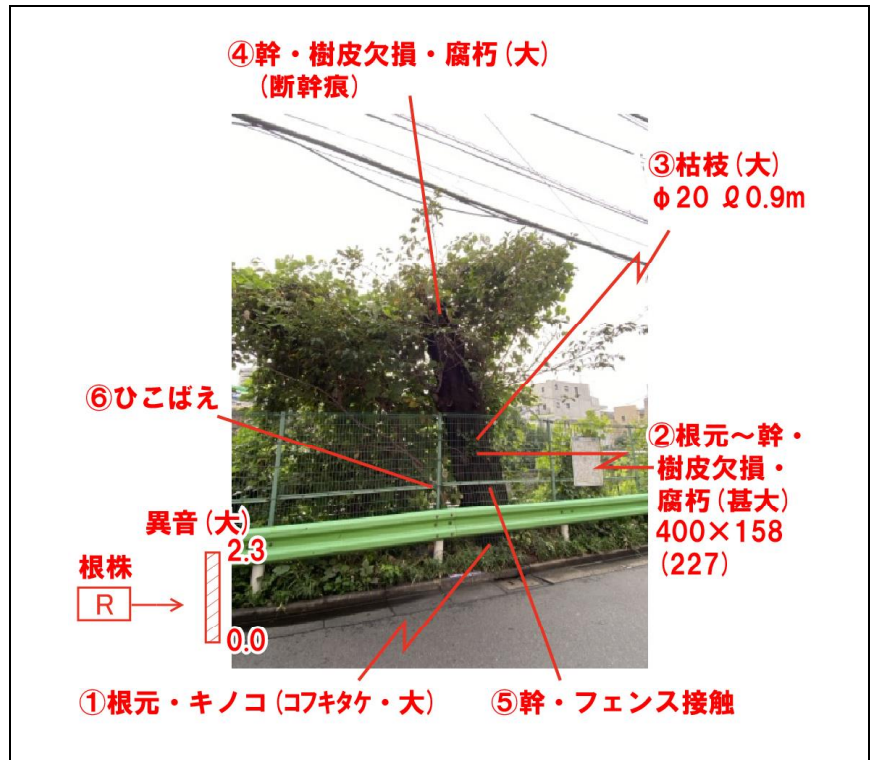
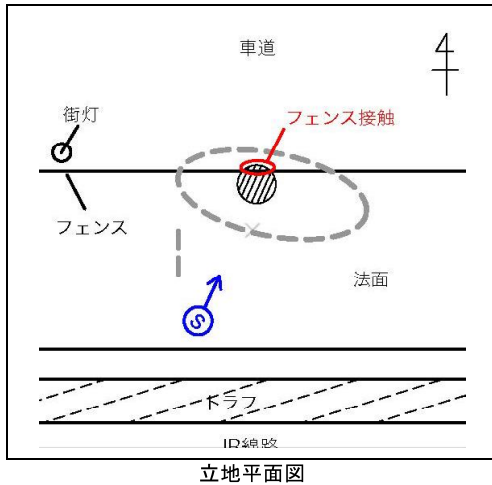
外 観 診 断	活 力 診 断	樹勢	枝の伸長量、梢端の枯損、枝の枯損、葉の密度、葉の大きさ、葉色等		良 ← ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☒ 4 ☐ 5 → 不良			
		樹形	主幹・骨格となる大枝・枝などの枯損及び欠損、枝の密度と配置等		☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☒ 4 ☐ 5			
		所見	樹勢：葉量が少ない。 樹形：強剪定あり。枝数が少ない。					
	活力判定	☐ 健全か健全に近い ☐ 注意すべき被害が見られる ☒ 著しい被害が見られる ☐ 不健全						
	部 位 診 断	診断内容 \ 部位	根元		幹		骨格となる大枝	
		樹皮枯死・欠損・腐朽 (周囲長比率)	☐ なし ☐ 1/3 未満 ☒ 1/3 以上		☐ なし ☐ 1/3 未満 ☒ 1/3 以上		☒ なし ☐ 1/3 未満 ☐ 1/3 以上	
		芯に達していない開口空洞 (周囲長比率)	☒ なし ☐ 1/3 未満 ☐ 1/3 以上		☒ なし ☐ 1/3 未満 ☐ 1/3 以上		☒ なし ☐ 1/3 未満 ☐ 1/3 以上	
		芯に達した開口空洞 (周囲長比率)	☒ なし ☐ 1/3 未満 ☐ 1/3 以上		☒ なし ☐ 1/3 未満 ☐ 1/3 以上		☒ なし ☐ 1/3 未満 ☐ 1/3 以上	
		上記3項目のうち 最大被害部の周囲長比率	被害部幅 158	/	被害部周囲長 227	=	周囲長比率 69.6%	枯枝 ☐ なし ☒ あり(φ20cm 0.9m) スツバカット ☒ なし ☐ あり()
		キノコ(子実体)	☐ なし ☒ あり(コナカ)		☒ なし ☐ あり()		☒ なし ☐ あり()	
木槌打診(異常音)		☐ なし ☒ あり(G.L.0-0.2m 大)		☐ なし ☒ あり(G.L.0.2-2.3m 大)		☒ なし ☐ あり()		
分岐部・付根の異常		☒ なし ☐ あり()		☒ なし ☐ あり()		☒ なし ☐ あり()		
胴枯れなどの病害		☒ なし ☐ あり()		☒ なし ☐ あり()		☒ なし ☐ あり()		
虫穴・虫フン、ヤニ		☒ なし ☐ あり()		☒ なし ☐ あり()		☒ なし ☐ あり()		
根元の揺らぎ		☒ なし ☐ あり()		建築限界越え 車道側 幹 ☒ なし ☐ あり ()		建築限界越え 歩道側 幹 ☒ なし ☐ あり ()		
鋼棒貫入異常		☒ なし ☐ あり()		枝 ☒ なし ☐ あり ()		枝 ☒ なし ☐ あり ()		
巻き根		☒ なし ☐ あり()						
ルートカラー		☒ 見える ☐ 見えない()						
露出根被害		☒ なし ☐ あり()						
不自然な傾斜	☒ なし ☐ あり()							
所見	根元のキノコ(コナカ・大)あり。 根元から幹の樹皮欠損・腐朽(甚大)あり。 枯枝(大)あり。 ひこばえあり。 幹のフェンス接触あり。 幹の樹皮欠損・腐朽(大・断幹痕)あり。 木槌打診音異常(G.L.0-2.3m)あり。 要機器診断(根株)。							
部 位 判 定	判定・処置 \ 部位	根元		幹		骨格となる大枝		
	健全か健全に近い	☐		☐		☐		
	注意すべき被害が見られる	☐		☐		☐		
	著しい被害が見られる	☒		☒		☒		
	不健全	☒		☒		☐		
処 置	剪定が必要	☐		☐		☐		
	機器診断が必要	☒		☐		☐		
外観診断判定	☐ A：健全か健全に近い ☐ B1：注意すべき被害が見られる ☐ B2：著しい被害が見られる ☒ C：不健全							
判定理由	不健全。根元から幹にかけての幹の樹皮欠損・腐朽の被害が甚大であり、地上部の大部分が枯死しているため、回復の見込みがない。							

機 器 診 断	測定データ 1	部位(根株)	腐朽空洞率: 38.5 %	t/R 率 ① 0.847	② 0.000	③ 0.433	④ 0.257
	測定データ 2	部位()	腐朽空洞率: %	t/R 率 ①	②	③	④
	所見	<根株診断> 根株に大きな腐朽空洞が認められる。特に②④方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。					

総合判定	☐ A：健全か健全に近い ☐ B1：注意すべき被害が見られる ☐ B2：著しい被害が見られる ☒ C：不健全
判定理由	不健全。根元から幹にかけての幹の樹皮欠損・腐朽の被害が甚大で地上部の大部分が枯死しており、回復の見込みがない。 樹高低減済みのため倒伏の危険性は小さいが、回復の見込みがないため、伐採を推奨する。

No. 19

処 置 内 容	必要性	☐ なし ☒ あり	緊急性	☒ なし ☐ あり
	☐ 要観察(長期周期) ☐ 要観察(短期周期)			
	☐ 剪定(枯枝 ☐ 樹体保護() ☐ 根上がり() ☒ 更新(撤去・植替えを要する。)	☐ 腐朽枝等 ☐ 支障枝 ☐ 風圧軽減 ☐ 植栽基盤の改善() ☐ 病虫害防除() ☐ その他()	☐ スタブカット	☐ 巻き根
	摘要 樹高低減済みのため倒伏の危険性は小さいが、幹の大部分が枯死しており回復の見込みがないため、伐採を推奨する。			



①根元のキノコ(コナタケ)



②根元から幹の樹皮欠損・腐朽



③枯枝

その他特記事項

次回診断	☐ フォローアップ診断(☐ 要機器診断 測定部位:) ☐ 外観診断	
次回診断時期	☐ 1年後 ☐ 2年後 ☐ 3年後 (年度)	
位置座標(WGS84)	緯度 35.706356	経度 139.682247

樹木番号:5



④幹の樹皮欠損・腐朽



⑤幹のフェンス接触



⑥ひこばえ
